

第一種使用規程の承認に係る申請案件の審査状況

1. ご審議いただく案件

No.	名称【申請者】	使用等の内容	検討状況		承認の状況			
			農作物分科会 又は 昆虫分科会	総合検討会	カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法	
					隔離ほ場 又は 隔離飼育 区画	一般利用	食品	飼料
1	除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズ (<i>pat</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>ft_t.1</i> , <i>tdo</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (MON94313, OECD UI: MON-94313-8) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2022年 12月6日 2023年 2月8日	2023年 3月17日	—	—	—	—
2	チョウ目害虫抵抗性ワタ (改変 <i>cry2Ab2</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON15947, OECD UI: MON-15947-5) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2022年 12月6日 2023年 2月8日	2023年 3月17日	—	—	—	—
3	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>pat</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (DBN9004, OECD UI: DBN-09004-6) 【国立大学法人筑波大学】 【SCC Scientific Consulting Company Japan株式会社】	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2022年 9月29日 12月6日	2023年 3月17日	—	—	—	—
4	収量増加並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ (<i>zmm28</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>aad-1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (DP202216×NK603×DAS40278, OECD UI: DP-202216-6×MON-00603-6×DAS-40278-9並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)) 【コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2022年 12月6日 2023年 2月8日	2023年 3月17日	—	—	—	—
5	<i>HC-F90</i> 遺伝子導入改変赤色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ (<i>HC-F90</i> , <i>Bombyx mori</i>) (GN5, GCS5, GN5×GCS5, GN5×中511号, GCS5×日604号) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】	隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育(孵化直後から繭の形成まで)、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為	2023年 2月22日	2023年 3月17日	—	—	—	—
6	<i>HC-F90</i> 遺伝子導入改変赤色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ (<i>HC-F90</i> , <i>Bombyx mori</i>) (GN5, GCS5, GN5×GCS5, GN5×中511号, GCS5×日604号) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】 【群馬県蚕糸技術センター】	隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育(孵化直後から繭の形成まで)、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為	2023年 2月22日	2023年 3月17日	—	—	—	—
7	<i>HC-mAG</i> 遺伝子導入改変緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ (<i>HC-mAG</i> , <i>Bombyx mori</i>) (GN7, GCS7, GN7×GCS7, GN7×中511号, GCS7×日604号) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】	隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育(孵化直後から繭の形成まで)、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為	2023年 2月22日	2023年 3月17日	—	—	—	—

8	<p><i>HC-mAG</i> 遺伝子導入改変緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ (<i>HC-mAG, Bombyx mori</i>) (GN7, GCS7, GN7×GCS7, GN7×中511号, GCS7×日604号) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】 【群馬県蚕糸技術センター】</p>	<p>隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育（孵化直後から繭の形成まで）、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為</p>	2023年 2月22日	2023年 3月17日	—	—	—	—
9	<p>高染色性絹糸生産カイコ (改変 <i>Fibroin H, Bombyx mori</i>) (GCS500, GCS508, 中515号×GCS500, 中517号×GCS508) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】</p>	<p>隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育（孵化直後から繭の形成まで）、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為</p>	2023年 2月22日	2023年 3月17日	2016年 5月25日	2020年 8月21日	—	—
10	<p>高染色性絹糸生産カイコ (改変 <i>Fibroin H, Bombyx mori</i>) (GCS500, GCS508, 中515号×GCS500, 中517号×GCS508) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】 【群馬県蚕糸技術センター】</p>	<p>隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育（孵化直後から繭の形成まで）、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為</p>	2023年 2月22日	2023年 3月17日	2016年 5月25日	—	—	—

注1：「承認状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「—」は未承認であることを示す。
また、農作物の「隔離ほ場」欄における「免除」は、トウモロコシについては隔離ほ場試験が不要と判断されたもの、スタック系統については親系統と比較し形質間の相互作用が示されていないことを確認しているものであることを示す。

注2：「承認状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「—」は未確認であること、「○」は安全性が確認されたもの同士の掛け合わせであることを示す。
ただし、「—」には、花きや昆虫など、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

収量増加並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ (DP202216×NK603×DAS40278, OECD UI: DP-202216-6×MON-00603-6×DAS-40278-9)

名 称【申請者】		使用等の内容	承認の状況				
			カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法		
			隔離ほ場	一般利用	食品	飼料	
1	参考資料3 トウモロコシの番号 114、120	収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (<i>zmm28, pat, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (DP202216, OECD UI: DP-202216-6) 【コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2019	2022	2022	2022
2	参考資料3 トウモロコシの番号 50	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ (<i>cp4 epsps, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (NK603, OECD UI: MON-00603-6) 【バイオクロップサイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	-	2004	2001	2003
3	参考資料3 トウモロコシの番号 45、71	アリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ (改変 <i>aad-1, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) DAS40278, OECD UI: DAS-40278-9) 【ダウ・アグリサイエンス日本株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2009	2012	2012	2012

審査番号1	品目の概要			
遺伝子組換え生物の名称	除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズ (<i>pat</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>ft_t.1</i> , <i>tdo</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (MON94313, OECD UI: MON-94313-8)			
申請者	バイエルクロップサイエンス株式会社			
使用等の内容	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無の判断
競合における優位性	—	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	—	—	—	無しと判断
交雑性	ツルマメ	ツルマメ集団中に <i>pat</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>ft_t.1</i> 及び <i>tdo</i> 遺伝子が浸透し定着する可能性が考えられた。	ツルマメに本組換えダイズの導入遺伝子が浸透する可能性は極めて低い。	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号2	品目の概要			
遺伝子組換え生物の名称	チョウ目害虫抵抗性ワタ (改変 <i>cry2Ab2</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON15947, OECD UI: MON-15947-5)			
申請者	バイエルクロップサイエンス株式会社			
使用等の内容	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	特定されず	—	—	無しと判断
交雑性	特定されず	—	—	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号3	品目の概要			
遺伝子組換え 生物の名称	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>pat</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (DBN9004, OECD UI: DBN-09004-6)			
申請者	国立大学法人筑波大学、SCC Scientific Consulting Company Japan株式会社			
使用等の内容	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有 無の判断
競合における優位性	—	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	—	—	—	無しと判断
交雑性	ツルマメ	ツルマメ集団中に改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子及び <i>pat</i> 遺伝子が浸透し定 着する可能性が考えら れた。	ツルマメに本組換えダ イズの導入遺伝子が浸 透する可能性は極めて 低い。	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号4	品目の概要			
遺伝子組換え生物の名称	収量増加並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ (<i>zmm28</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>aad-1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (DP202216×NK603×DAS40278, OECD UI: DP-202216-6×MON-00603-6×DAS-40278-9並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。))			
申請者	コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社			
使用等の内容	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無の判断
競合における優位性	特定されず	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	特定されず	—	—	無しと判断
交雑性	特定されず	—	—	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号5	品目の概要			
遺伝子組換え生物の名称	HC-F90遺伝子導入改変赤色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ (HC-F90, <i>Bombyx mori</i>) (GN5, GCS5, GN5×GCS5, GN5×中511号, GCS5×日604号)			
申請者	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構			
使用等の内容	隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育(孵化直後から繭の形成まで)、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無の判断
競合における優位性	—	—	—	無しと判断
捕食性	—	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	—	—	—	無しと判断
交雑性	クワコ	本組換えカイコ由来の赤色蛍光タンパク質-フィブロインH鎖融合タンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコへ浸透し定着する可能性。	クワコと交雑し赤色蛍光タンパク質-フィブロインH鎖融合タンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコ集団に浸透し定着する可能性は極めて低い。	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号6	品目の概要			
遺伝子組換え生物の名称	HC-F90 遺伝子導入改変赤色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ (HC-F90, <i>Bombyx mori</i>) (GN5, GCS5, GN5×GCS5, GN5×中511号, GCS5×日604号)			
申請者	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、群馬県蚕糸技術センター			
使用等の内容	隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育(孵化直後から繭の形成まで)、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無の判断
競合における優位性	—	—	—	無しと判断
捕食性	—	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	—	—	—	無しと判断
交雑性	クワコ	本組換えカイコ由来の赤色蛍光タンパク質-フィブロインH鎖融合タンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコへ浸透し定着する可能性。	クワコと交雑し赤色蛍光タンパク質-フィブロインH鎖融合タンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコ集団に浸透し定着する可能性は極めて低い。	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号7	品目の概要			
遺伝子組換え生物の名称	<i>HC-mAG</i> 遺伝子導入改変緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ (<i>HC-mAG, Bombyx mori</i>) (GN7, GCS7, GN7×GCS7, GN7×中511号, GCS7×日604号)			
申請者	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構			
使用等の内容	隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育(孵化直後から繭の形成まで)、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無の判断
競合における優位性	—	—	—	無しと判断
捕食性	—	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	—	—	—	無しと判断
交雑性	クワコ	本組換えカイコ由来の緑色蛍光タンパク質-フィブロインH鎖融合タンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコへ浸透し定着する可能性。	クワコと交雑し緑色蛍光タンパク質-フィブロインH鎖融合タンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコ集団に浸透し定着する可能性は極めて低い。	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号8	品目の概要			
遺伝子組換え生物の名称	<i>HC-mAG</i> 遺伝子導入改変緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ (<i>HC-mAG, Bombyx mori</i>) (GN7, GCS7, GN7×GCS7, GN7×中511号, GCS7×日604号)			
申請者	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、群馬県蚕糸技術センター			
使用等の内容	隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育(孵化直後から繭の形成まで)、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無の判断
競合における優位性	—	—	—	無しと判断
捕食性	—	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	—	—	—	無しと判断
交雑性	クワコ	本組換えカイコ由来の緑色蛍光タンパク質-フィブロインH鎖融合タンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコへ浸透し定着する可能性。	クワコと交雑し緑色蛍光タンパク質-フィブロインH鎖融合タンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコ集団に浸透し定着する可能性は極めて低い。	無しと判断
その他特記事項	○ 特になし			

審査番号9	品目の概要			
遺伝子組換え生物の名称	高染色性絹糸生産カイコ (改変 <i>Fibroin H</i> , <i>Bombyx mori</i>) (GCS500、GCS508、中515号×GCS500、中517号×GCS508)			
申請者	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構			
使用等の内容	隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育(孵化直後から繭の形成まで)、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無の判断
競合における優位性	—	—	—	無しと判断
捕食性	—	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	—	—	—	無しと判断
交雑性	クワコ	本組換えカイコ由来の改変FibroinHタンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコへ浸透し定着する可能性。	クワコと交雑し改変FibroinHタンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコ集団に浸透し定着する可能性は極めて低い。	無しと判断
その他特記事項	○ 高染色性絹糸生産カイコ(改変 <i>Fibroin H</i> , <i>Bombyx mori</i>) (GCS500、GCS508、中515号×GCS500、中517号×GCS508) (平成29年9月承認)の申請範囲に、卵の孵化及び稚蚕での飼育等を追加しての申請。			

審査番号10	品目の概要			
遺伝子組換え生物の名称	高染色性絹糸生産カイコ (改変 <i>Fibroin H</i> 、 <i>Bombyx mori</i>) (GCS500、GCS508、中515号×GCS500、中517号×GCS508)			
申請者	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、群馬県蚕糸技術センター			
使用等の内容	隔離飼育区画における①催青処理開始後の卵の保管、運搬及び孵化、②幼虫の飼育(孵化直後から繭の形成まで)、③繭の生産、④幼虫及び繭の保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びに①から④までに付随する行為			
	野生動植物等の特定	影響の具体的内容	影響の生じやすさ	生物多様性影響の有無の判断
競合における優位性	—	—	—	無しと判断
捕食性	—	—	—	無しと判断
有害物質の産生性	—	—	—	無しと判断
交雑性	クワコ	本組換えカイコ由来の改変 <i>Fibroin H</i> タンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコへ浸透し定着する可能性。	クワコと交雑し改変 <i>Fibroin H</i> タンパク質遺伝子及び改変型緑色蛍光タンパク質遺伝子がクワコ集団に浸透し定着する可能性は極めて低い。	無しと判断
その他特記事項	○ 高染色性絹糸生産カイコ(改変 <i>Fibroin H</i> 、 <i>Bombyx mori</i>) (GCS500、GCS508、中515号×GCS500、中517号×GCS508) (平成29年9月承認)の申請範囲に、卵の孵化及び稚蚕での飼育等を追加しての申請。			